

## 活動完了報告

### 「マルティーナフランカ ベルカントアカデミーへの挑戦」活動助成

大田原 瑠

#### 《報告および成果》

今回、マルティーナフランカのアカデミーへの参加は叶わなかったが、Rossini in Wildbad のベルカントアカデミーに参加することができた。このアカデミーでは、フェスティバルのオペラやコンサートへの出演者を事前のオーディションにより決めている。私は、『オリー伯爵』のアリス役、『グロリアミサ』のソプラノソリスト、野外コンサートでのソリストを務めた。

オリー伯爵、グロリアミサではロッシェニ歌いのプロフェッショナルがキャスト陣に勢揃いし、その中でアンサンブルや演技を通して彼らの技術に触れられたことはとても良い経験になった。

フェスティバルでは私の参加した演目の他に、アカデミー生公演『アルジェのイタリア女』とカラファの『マサニエツロ』を上演していた。これらの公演で他のアカデミー生やプロたちの歌と演技から多くのことを学ぶことができた。特に、私は今まで喜劇での演技をあまり経験してこなかったため、『アルジェのイタリア女』を何回も観て、歌手がどのように表現しているかを研究することで自分自身の『オリー伯爵』での表現を工夫していくことができた。

また、二週間のマスタークラスに参加し、研鑽を積んだ。

マスタークラスでは前半をフィリッポ・モラーチェ、後半をラウール・ヒメネスが講師として呼ばれ、ロッシェニ作品やベルカントのレパートリーを強化することができた。各週の最後には修了コンサートに出演することもできた。

フェスティバル全体を通して、歌手としての生活（食事・体調管理）の過酷さを体験し、それを乗り越えたことで自信がついた。また、アリスの小さい役でも良い批評をいただくことができ、歌手として一歩前進した。

また、フェスティバルまでの期間は頂いた寄付金を利用し、イタリア各地（バーリ、スポレート、ボローニャなど）のオーディションに出向くことができた。

#### 《今後の課題》

今回のフェスティバルを通して、歌手として公演をこなしながら次の公演の準備と勉強を両立する必要性を強く感じた。現在は、秋の『羊飼いの王様』と『ドン・ジョバンニ』や、コンサートの準備をしながら、コンクールに向けて計画をしている。

次につながるオーディション・コンクールの厳選と情報収集が大事だと感じたので、有限の体力と時間を浪費しないよう、慎重かつ適切にキャリアを進めていきたい。

#### 《その他》

・出演した『オリー伯爵』は『Opera vision』（※）にて公開されています。

[https://youtu.be/A33zYUgJDqA?si=HGaOLWa2in4I tzN\\_&t=10s](https://youtu.be/A33zYUgJDqA?si=HGaOLWa2in4I tzN_&t=10s)

（※）世界最大級のオペラ配信プラットフォーム。EU の文化支援プログラムで、主に欧州のオペラハウス・オペラ団体がプロジェクトパートナーとして参画。すべてのコンテンツが無料で配信・提供されている。

